

この意見陳述書は、12/4 に裁判所で開かれた勾留理由開示請求にて、池田くん本人が事件の経緯について述べたものです。当日は18名の人たちが傍聴に駆けつけました。

## 意見陳述

(無実であること)

私は、本件の被疑事実に書いてある万引きなどやっていません。そもそも、私は、松本義雄と一緒に万引きをやりに行ったことなどありませんし、松本に万引きを頼んだこともありません。

私は、精神安定のために睡眠薬を処方されており、これを飲んで寝るため、犯行時刻とされる午前2時37分頃には、家で寝ているはずで、要するに、そんな夜遅くにスーパーに買物に行くはずがないのです。

(不当逮捕・勾留の目的)

私は、航空自衛隊の自衛官でした。そして、アメリカなどがおこなったイラク戦争に関しておこなわれた自衛隊のイラク派遣によって、2006年4月にクウェート国アリアルサレム基地に派遣されて、米軍などととも駐留しました。そして、同年7月4日、その基地内で米軍が開催したマラソン大会に参加したところ、米軍の用務で暴走してきた軍用バスにはねられて全身打撲の重傷を負いました。しかし、自衛隊の海外派兵による事故を隠蔽する意図と思える事故隠しによって治療のための国内帰還が認められず、十分な治療を受けられませんでした。さらに、派遣の任期を終えて帰還した後も、やっかい者扱いの嫌がらせ等を受けて、結局退職に追い込まれました。そのため、この違法・不当な行為について、私は、国の責任を追及する決意をして、現在、名古屋地方裁判所で国家賠償請求裁判をしています。

今回、10か月も前の万引事件について、不当に逮捕・勾留されることになったのは、私が国の安保政策に異を唱えるような訴訟をしていることに対して圧力を加える目的であると認識しています。

(今回の逮捕・勾留における問題点)

私は、11月19日午前10時頃、腰が痛くてたまらなかつたため、協立病院に行き、待合室で待っていたところ、そこに現れた警察官から、いきなり「傷害事件

について話を聞かせて欲しい」と言われて、熱田警察署に連れて行かれました。私は、身に覚えがないので、その旨説明しましたが、警察官は帰してくれませんでした。挙げ句の果てに、午後5時頃になって、別の警察官から、これまでの事情聴取とは全く関係のない万引事件の逮捕状が示されて、いきなり逮捕されてしまいました。

それまでの傷害事件の取調べは一体何のためにやっていたのでしょうか？また、窃盗事件の逮捕状は、いつ、どういういきさつで取られたのでしょうか？不審点がいっぱいです。

また、11月21日に勾留された際、接見禁止がつけられましたが、私の場合、独居房にはなりません。勾留が始まったところ同房に入れられていた者は、「いびきがうるさくて眠れない」「睡眠薬を飲むな」などと執拗に言うてくるなどの、嫌がらせをするため、私は夜も眠れない日が続きました。さらに口論から殴りかかられそうになったため、看守に助けを求めたところ、その男は隣の房に移されましたが、入れ替わりに、私から話を聞き出そうとしきりに話し掛けてきてうとうしい男が同房に入ってきました。

これらは、不当な勾留に対する抵抗の意思を示すために黙秘を決意した私に対する嫌がらせ以外の何ものでもないと思っています。

(違法な捜索・押収)

勾留中の11月27日、私は、警察官5～6名に連れられて、私のアパートの捜索、押収に立ち会われました。

捜索・押収が終わって熱田署に帰ってからわかったことですが、この捜索・押収は、期限切れの令状による違法な捜索でした。このような違法をおかしてまでおこなった捜索で印象に残っているのは、1人の警察官は、期限切れの令状に書かれた差押の目的物である衣類とは全く関係のない国賠訴訟の記録と自衛隊に関して私が集めていた資料ばかりを調べていたことです。

逮捕・勾留後の取調べでは、万引事件とは全く関係のない国賠訴訟のことをしきりに聞かれますし、留置場の担当者からも「池田さんは有名人ですね。」「みんな池田さんのことを知ってる」などと、私がしている自衛隊のイラク派兵に関する国賠訴訟について、やたらと話し掛けてくることなどとも合わせて、10か月も前の不審な万引事件を口実にした今回の捜査活動は、私がやっている国賠訴訟や自衛隊の海外派兵に反対する活動に対して圧力を加える目的としか考えられません。

直ちに不当な勾留から解放してください。